

～第21回 日本の音～
和太鼓フェスティバル



▲息の合った「元気と感動を与える太鼓」に会場からは割れんばかりの拍手が湧き起りました

9月2日、市役所古河庁舎中庭で和太鼓フェスティバルが開催されました。市内の3団体「太鼓塾三八禧」「琉球國祭り太鼓」「古河和太鼓保存会」に加え、板倉町「稲妻太鼓愛好会」、春日部市「彩誠太鼓」が計20曲を演奏。

ライトアップで浮かび上がる伝統芸能の和太鼓による華麗なばちさばきや、沖縄エイサーを取り入れたダイナミックな演舞が披露されました。

詰めかけた大勢の観客からは、大きな歓声や手拍子があがり、会場が一体となって響き渡る太鼓の音を堪能しました。

「ただいまからポンプ車操法を開始します」
古河市消防ポンプ操法練習会



▲古河市の代表として、昼夜問わず練習を重ねてきた第11分団

9月3日、中央運動公園イベント広場で古河市消防ポンプ操法練習会が開催されました。

ポンプ操法とは、設置された防火水槽から吸水し、火災現場を意識した火点と呼ばれる的に目掛けて放水し撤収するまでの一連の動作のことで、消防団員としての基本的な操作習得を目的としています。

規律ある的確な動作に、応援に駆け付けた仲間や家族から歓声と拍手が送られました。

10月8日に古河市で開催されるポンプ操法県西地区大会に出場する第11分団の健闘を祈ります。

行政スポーツを通じた交流
行政自治会親善バレーボール

8月20日、古河はなもも体育館(中央運動公園体育館)など4会場で、行政自治会親善バレーボール大会が開催されました。

この日は、9人制バレーボールの部に33チーム、4人制ソフトバレーボールの部に49チームが参加。コート上では、相手を翻弄するフェイントやライン際を狙ったアタックなど、どのチームもさまざまな技を繰り出していました。

また、懸命なプレーで白熱した試合を展開する選手たちに、観客から大きな声援が送られていたのも印象的でした。

約700人の選手たちは、地域の仲間と共に汗を流して絆を深め、交流を楽しみました。



▲チームの勝利のために全力プレー。ネット際の迫力ある攻防に歓声が上がりました